北小物語2018

平成３１年　２月　４日
平戸市立田平北小学校
学校便りＮｏ．（ ８３ ）
校長　曽川　和則

◇◇◇「いい顔」「いい声」「いい心」たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第８３話：「今日も田平北小校舎内にあふれる『いい顔』『いい声』『いい心』」の巻　☆★☆彡

小さな訪問者と大きな訪問者！？

【小さな訪問者】コンコン・・・「失礼します！」。突然、校長室のドアを叩く音。「はい、どうぞ！」の返事で扉を開くと、かわいい１年生の子どもたちが、幾分、緊張した面持ちで立っていました。「校長先生に質問があります。入ってもいいですか？」と切り出した子どもたち。ちょっと身構える私に容赦なく（？）質問が投げかけられました。「校長先生の小さいころ、大好きだった遊びは何ですか？」、「校長先生は、どんなお仕事をされているのですか？」、「校長先生が、ぼくたちに望むことは何ですか？」、などなど・・・１年生の子どもたちは、国語科『がっこうのことをつたえよう』の学習で、先生方にインタビューをしていたのです。それぞれのグループに分かれて聞き取った学校のことを持ち寄り、伝え合う学習です。ますます学校のことを知り、学校のことが大好きになる小さな訪問者の大きな活躍でした。

☆★

【大きな訪問者】朝の時間のことです。校長室の扉の向こうに６年生の姿が見えました。白川くんと千代延さんです。二人は、１年生教室を訪れ、１年生の子どもたちにこう語っていました。「田平北小学校には、『あすなろ運動』があります。私たち６年生は、あと２か月でこの北小を卒業しますが、北っ子のみなさんに『あすなろ運動』を大切にしてほしいと思っています。そこで、みんなが、その運動をしっかりと守れるように働きかけていきます。協力をお願いします。」・・・卒業というゴールを見据えている６年生は、『立つ鳥運動』をスタートさせています。その運動の一環として、二人は１年生教室を訪問したのです。大きな先輩から小さな後輩へ、大切な運動を引き継ぐためのすてきな訪問でした。

【　田平北小学校の伝統『あすなろ運動』　】

あ：あいさつ・返事をしよう。　す：スリッパ・靴をならべよう。
な：名札を付けよう。　ろ：ろうかは静かに歩こう。

立春到来！

☆★☆★☆★☆★

北小玄関には、冬の代表花とも言える「つばき」の花が飾られ、皆様をお迎えしています。目に鮮やかな赤い花が印象的です。

今日〔２月４日〕は、「立春」。３日の「節分」を経て、暦の上では「春」の訪れとなっています。

２年生は、先週、豆まきを行い、日本の伝統行事である「節分」について学びました。「福は内、鬼は外～！」のかけ声で、今年の幸福を祈念するとともに、自分の中にある「心の鬼」を退治しました。「節分」は季節の分かれ目と書きます。今年は、まだ雪を見ることがなく、暖かい日が続いています。このまま「春」が訪れるのでしょうか。それとも寒さのぶり返しでしょうか。体調管理要注意です。